

まえがき…………… iii

1 フランスへの旅立ち…………… 1

コラム1 原子核研究の始まり 19

2 コレジ・ド・フランス原子核化学研究所…………… 21

コラム2 コレジ・ド・フランス 32

コラム3 原子核の構造とその放射性崩壊 34

コラム4 ウィルソン霧箱 36

コラム5 フランスにおける核分裂の研究 41

3 ドイツ占領下の研究所で…………… 45

コラム6 β 崩壊の当時の研究状況 56

4 崩れ行くベルリンで…………… 75

5 敗戦の祖国…………… 89

6 再会、そして別れ…………… 107

7 オルセー原子核研究所で…………… 133

コラム7 核反応の研究とは 140

コラム8 少数核子系の研究 150

8 断層を超えて…………… 155

9 “Jusqu’au bout” — 最後まで徹底的に…………… 175

あとがき…………… 193

(付図) パリ市内の年子ゆかりの地 viii

パリ南郊の年子ゆかりの地 154